



市民の目線で 狛江市政をお届け!

こまえをこなげる

こまつなNEWS

95
VOL.
2026年10月発行
発行: 狛江で分かりやすい政治を伝える・維新の会
狛江市岩戸北3-18-8-701

シリーズ ① これからの狛江を、考える。02

(仮称) 西和泉スポーツ施設を考える。

スポーツで、 つながる。 ひらかれた、 みんなの場所へ。

スポーツだけじゃない。
まちにひらかれた、
みんなの交流拠点へ。

これからを考える。



現在、基本計画を策定中、令和13年オープン予定の(仮称)西和泉スポーツ施設。

今号では建物の機能面だけではなく、施設全体の「これから」を考えてみます。 KOMAE→

狛江市議会議員

みやけくん

1 ?

基本計画の段階でも
約51億円の事業規模
単純に建物の機能
だけでいいのかな?

新しい
スポーツ施設
楽しみ〜!

2

あっ!
ポイントは
建物の“外”にも
あるんだ!

根川さくら通りと
つながる、
ひらかれた空間!

(仮称) 西和泉スポーツ施設
整備基本計画

まちとつながる

地域にひらく

3

グラウンドで
頑張る子どもを
応援に来ました!

ちょっとした
買い物にも
立ち寄れて便利!

空調の効いた
施設で
ひと休みできるのが
うれしいね。

コンビニ

4

建物をつくる。
じゃなくて、
まちとの関係をつくる。

(仮称)
西和泉スポーツ施設

※イラストの建物はイメージ。狛江市の施設説明会資料を参考に生成AIで作成。

体育館をつくる。 その先を、考える。

「使う人」だけの施設にしない。

スポーツをする人。

応援に来る人。買い物に立ち寄る人。

ちょっと休んでいく人。

いろんな人の日常とつながることで、
公共施設はもっと「まちの場所」になる。

スポーツで、
つながる。
ひらかれた、
みんなの場所へ。

この場所から、
もっと元気な狛江へ。



応援する。

グラウンドで頑張る子どもたちを
応援したくなる場所に。



立ち寄る。

ちょっとした買い物でコンビニへ。
放課後の子どもたちが集う場所も。



ひと休みする。

スポーツをしない人も、高齢者も、
誰でも気軽に集まれる場所に。

建物つくる。
じゃなくて、
まちとの関係をつくる。

事業規模の大きい公共施設だからこそ
「何をつくるか」だけでなく
「どんな場所にするか」を考えたい。

(仮称)西和泉スポーツ施設は実施設計前の段階でも約51億円の
事業規模と確認しています。(狛江市議会 令和8年第三定例会 質疑から)
一方で、建築コストや金利の上昇は今後も続くことが予想されます。
であれば、将来にわたって使われる公共施設は、幅広く狛江市民の
人々の日常とつながっていく視点が大切です。
わたしは公共施設をもっと「まちの場所」にしていきたいと思います。



完全無所属の狛江市議会議員
三宅まこと



これからの狛江を、いっしょに考えていきましょう。